

日産 車種の系譜 ・ ・ ・ その車は、どの流れの何代目か

横＝年代（図解①と同じ目盛り）／縦＝7つの系統。1989年前後に名車が集中していることが、ひと目で分かります。

図解①の「危機」のレーンと見比べてください。会社が苦しい時期に、どの流れが細くなったかが読めます。

	1930s 創業	1940s 戦中戦後	1950s 技術導入	1960s 合併	1970s 規制	1980s 走りで世界一	1990s 経営危機	2000s 立て直し	2010s EV	2020s 再建
大衆・コンパクト いちばん台数が出る流れ	1931 ダットサン 小型車の原点		1959 ブルーバード	1966 サニー 大衆車の柱		1982 マーチ 小型車の顔		2005 ノート	2016 ノート e-POWER 販売の主力へ	2020s ノート／オーラ ⌚
上級・セダン 大人向けの流れ				1960 セドリック 1968 ローレル		1988 シーマ 高級車ブームの象徴 1988 セフィーロ		2004 フーガ	2010s セダンの縮小 SUVとミニバンへ	
スカイライン系 合併で加わった血筋			1957 スカイライン 当時はプリンス自動車の車	1966 合併で日産へ 1969 スカイラインGT-R		1989 GT-R(R32)復活 いまも中古が高い	1990s R33／R34へ	2007 GT-R(R35) スカイラインから独立		2020s スカイラインが現行 ⌚
スポーツ 会社の看板				1969 フェアレディZ 北米で大成功		1989 Z32 名車が集中した年		2002 350Z		2022 フェアレディZ 現行型 ⌚
SUV・四駆 世界の悪路で使われる			1951 パトロール 本格四駆の原点		1980 サファリ	1986 テラノ		2000 エクストレイル 普段使いできる四駆		2020 キックス 小型SUV ⌚
ミニバン・商用 家族と仕事を運ぶ					1973 キャラバン	1980s バネット	1991 セレナ 子育て世代の定番に 1997 エルグランド			2020s セレナが主力 ⌚
電動化 いちばん先を走った流れ									2010 リーフ 量産EVの先駆け 2016 e-POWER 充電のいらないモーター走行	2021 アリア 2022 サクラ 軽の電気自動車 ⌚

 いちばん濃い年

1989年。GT-Rの復活、Z32、シーマ、インフィニティ。走りで世界一を目指す方針に開発費が集まった時期です。いま中古市場で価格が上がっているのは、ほぼこの年前後の車です。

 中古車を見るとき使い方

電動化の流れは、他社より歴史が長いぶん中古の選択肢も多いです。ただし見るべきは走行距離より電池の状態。同じ年式・同じ距離でも、使われ方で差が出ます。

 流れが細くなった時期

1990年代から2000年代にかけて、上級セダンやスポーツの流れが細くなっています。会社が苦しい時期に、真っ先に減るのがこの手の車です。図解①の危機のレーンと見比べてください。